



南高SSHだより

第1号
R1.6.17
新潟南高等学校
SSH部発行

第Ⅳ期の充実に向けて

新潟南高校SSH事業は昨年度から第Ⅳ期に入り、新たな活動を含めて事業の充実に向け歩みを進めています。

本事業の研究開発テーマに「未来イノベーションを牽引する、科学技術系グローバル人材の育成」を掲げ、在籍するすべての生徒に教科を越えた課題研究を課すことで、未知の課題に対して主体的・協働的に取り組む活動をととして思考力・判断力・表現力の育成を図っています。この17年間の経験とノウハウを活かし「他校への研究手法の普及」という形で他校の探究活動の支援にもあたっていきたいと考えております。



これまで運営委員の皆さまより「課題研究の充実」について様々なご指摘を頂戴してまいりましたことにあらためまして感謝申し上げます。課題設定の曖昧さの排除、研究手法や分析力の育成、実験機器活用の未熟さや、数値データの扱い方など、いただいた課題について指導にあたる教員も重く受け止めているところです。限られた時間の中でいかに生徒の科学技術系グローバル人材としての若い芽を育み伸ばしていけるかを意識しながら指導にあたっております。今年度からは、運営指導委員の人数を大幅に削減することといたしました。これは、運営指導委員会でのご指導内容をより深めていただきたいという期待による変更で、ご指摘いただいている課題について、本事業の中でより具体的に対応していくためのヒントをいただく場にしたいと考えております。

昨年度より探究基礎力の育成プログラムとして取り入れた1学年の「江風探究ユニット」も2年目となり、今年度からこの活動も正式にSSH事業計画に盛り込むこととしました。資料を読み解く能力、情報収集・活用能力を段階的に高めることにより、すべての教育活動に繋がる能力としての探究力育成を目的とした活動であり、2年次の学校設定科目「江風SG」「江風SSⅡ」における課題研究につなげることで課題設定と研究の展開にどのように変化が生まれてくるのか。とても楽しみにしています。

また、教育課程の変更により増単とした理数コース2年の「江風SSⅡ」は午後3時間の連続配置とし、様々な研究活動を計画しやすくなっていますし、普通科生徒にも門戸を広げたアメリカ研修「江風グローバル研修」もSSH事業としては少人数にとどめ、より深い研修としていきたいと考えています。今後も本校のSSH事業にご支援ご協力いただきますようお願い申し上げます。

新潟県立新潟南高等学校 校長 石井一也